



ギガビット / ファーストイーサネット ファイバーメディアコンバーター

CentreCOM® DMC シリーズ ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM DMC シリーズをお買い上げいただ き、誠にありがとうございます。

本製品は、ツイストペアケーブルと 2 心のマルチモード光 ファイバーケーブルを変換するメディアコンバーターです。 通信速度と、リモートポート側のインターフェースによって、 以下の製品をラインナップしています。

CentreCOM DMC1000 シリーズ

(1000BASE-T ⇔ 1000Mbps 光)

AT-DMC1000/SC 2 連 SC コネクター AT-DMC1000/ST 2 連 ST コネクター 2 連 LC コネクター AT-DMC1000/LC

CentreCOM DMC100 シリーズ

(100BASE-TX ⇔ 100Mbps 光)

AT-DMC100/SC 2 連 SC コネクター AT-DMC100/ST 2 連 ST コネクター AT-DMC100/LC 2連LCコネクター

なお、本書では、製品シリーズ名中の「CentreCOM」を一 部省略しています。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お 読みになった後は、大切に保管してください。

本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など 人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシス テムや機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用を 意図した設計および製造はされておりません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこ れらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様 もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的また は間接的または付随的なものであるかどうかにかかわりな く、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任において、このようなシステムや機器として の使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障 対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼 性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

特長

- 既設の機器の通信速度、コネクターに対応可能なライ ンナップ
- 超小型サイズ、簡単設置
- 一方のポートにリンク障害が発生し受信信号が消失し た場合、対向機側のポートのリンクを自動的に切断し、 LED で知らせるスマートミッシングリンク機能
- 消費電力を削減し環境に配慮

オプション(別売)

- 19 インチラックマウントキット AT-RKMT-J06 によ り、複数の本体を19インチラックにまとめて設置可能
- 壁設置ブラケット AT-DMCWLMT により、壁面への 設置が可能
- 壁設置用磁石 AT-BRKT-J20、マグネットシート S に より、スチール製壁面への設置が可能

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知 らせします。

http://www.allied-telesis.co.ip/



必ずお守りください





下記の注意事項を守らない 火災・感電により、死亡や大 けがの原因となります。



本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。 火災や感電、けがの原因となります。



雷のときはケーブル機器類にさわらない ・ブル類・



異物は入れない 水は禁物

火災や感電のおそれがあります。水 や異物を入れないように注意して ください。万一水や異物が入った場合は、電源ケーブル・ブラグを抜き、 弊社サポートセンターまたは販売 店にご連絡ください。



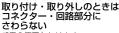
内部に熱がこもり、火災の原因と なります。



異物厳禁

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所 には置かない

内部回路のショートの原因になり、 火災や感電のおそれがあります。



感電の原因となります 稼働中に周辺機器の取り付け・取り 外し (ホットスワップ) に対応した 機器の場合でも、コネクターの接点 部分・回路部分にさわらないよう に注意して作業してください。



TW/ IIII 設置場所注意

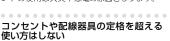


安全のために

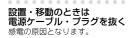
表示以外の電圧では使用しない 火災や感電の原因となります。 製品の取扱説明書に記載の電圧で正しくお使 いください。なお、AC電源製品に付属の電源 ケーブルは100V用ですのでご注意ください。



本製品に付属または取扱説明書に記載のない 電源ケーブルや電源アダプター、電源コン ントの使用は火災や感電の原因となります。



足配線などで定格を超えると発熱による 火災の原因となります。





電圧注意

F

正しい器具

-ブル類を傷つけない

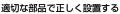
特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。 ケーブル類やブラグの取扱上の注意

- 加工しない、傷つけない。 重いものを載せない。

- 素器具に近づけない、加熱しない。 ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、 必ずプラグを持って抜く。

光源をのぞきこまない

元版を切てさてまない 目に傷害を被る場合があります。 光ファイバーインターフェースを持つ製品を お使いの場合は、光ファイバーケーブルのコ ネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネ クターなどをのぞきこまないでください。



取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて 正しく設置してください。指定以外の設置部 品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原 因となります。



傷つけない

ください

一・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・ みがき粉

正しく設置

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光のあたる場所 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所) 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所 (仕様に定められた環境条件下でご使用ください)
- 振動の激しい場所 こりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所 (静電気障害の原因になります)
- 腐食性ガスの発生する場所

静雷気注意

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で 誤動作の原因になります

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤 (中性) をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で 仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないで

(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってくだ

2 梱包内容

最初に、梱包箱の中に次のものが入っていることを確認して ください。

□ 本体(いずれか1台)

AT-DMC1000/SC, AT-DMC1000/ST,

AT-DMC1000/LC

AT-DMC100/SC, AT-DMC100/ST,

AT-DMC100/LC

- □ AC アダプター(1.8m、1個)
- □ 電源ケーブル抜け防止キット
 - ・電源ケーブル固定用部品(1 個) ・ケーブルタイ(1 本)
 - ・電源ケーブル固定用部品 固定ネジ

(M3 × 6mm ワッシャー付きなベネジ、1 個)

□ 梱包内容(1部)

□ 本製品をお使いの前に(1部)

□ 英文製品情報(1部)

※ 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。

□ 製品保証書(1部)

□ シリアル番号シール(2枚)

AT-DMCWLMT

□ ブラケット本体(1個)

□ ケーブルタイ(2本)

製品固定用ネジ(M3 × 4mm 皿ネジ、1 個)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で 再梱包することが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいて ください。

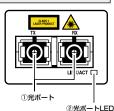
3 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の 手助けになる情報を示しています。
! 注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが 想定される内容を示しています。
警告	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが 想定される内容を示しています。
参照	参照	関連する情報が書かれているところを 示しています。

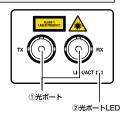
4 各部の名称と機能

(光ポート面)

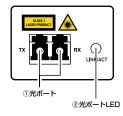
AT-DMC1000/SC · AT-DMC100/SC



AT-DMC1000/ST · AT-DMC100/ST



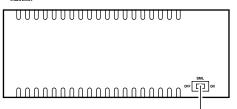
AT-DMC1000/LC · AT-DMC100/LC



(1000BASE-Tポート/100BASE-TXポート面)

® 1000BASE-T ボートLED/ 100BASE-TX ボートLED ® DCジャック LINK/AC UP/COL SYS LED ® SYS LED ® 1000BASE-T ボート, 100BASE-TX ボート

(底面)



⑦SML切替スイッチ

図 1 外観図

※天面は製品名以外の外観上の違いはありません。

光ポート面

① 光ポート

光ファイバーケーブルを接続するためのポートです。製品名末尾の英字がコネクター形状と対応しており、2連SCコネクター/2連LCコネクターのいずれかを装備しています。通信速度は1000Mbps (DMC1000シリーズ) または100Mbps (DMC1000シリーズ)、通信モードはFull Duplexをサポートします。

② 光ポートLED

光ポートと接続先の機器の通信状況を表示する LED ランプです。

○LINK/ACT LED (緑)

リンクが確立しているときに点灯します。

データを送受信しているときに速く点滅します。

スマートミッシングリンク機能が有効で、 1000BASE-Tポートまたは100BASE-TXポート側の リンク障害を検出した場合は、光ポートはスタンバイ 状態となり、LINK/ACT LED が遅く点滅します。

1000BASE-T/100BASE-TX ポート面

③ DC ジャック

AC アダプターと本製品を接続するためのコネクター (USB マイクロ B メス) です。

SYS LED

本製品全体の状態を表示する LED ランプです。

○ SYS L FD (緑)

電源が正しく供給され、正常に動作しているときに点灯します。また、正常に動作時は、SYS LED が定期的に明滅します(ハートピート表示)。

⑤ 1000BASE-TポートLED(DMC1000シリーズ)100BASE-TXポートLED (DMC100シリーズ)

○ LINK/ACT LED (緑)

リンクが確立しているときに点灯します。

データを送受信しているときに速く点滅します。

スマートミッシングリンク機能が有効で、光ポート側のリンク障害を検出した場合や、対向機の100BASE-TXポートまたは1000BASE-Tボート側でリンク障害 75年 上 た場合は、1000BASE-T ボートまたは100BASE-TXボートはスタンバイ状態となり、LINK/ACT LED が遅く点滅します。

○ DUP/COLLED (緑)

Full Duplexでリンクが確立しているときに点灯します。 スマートミッシングリンク機能が有効で、光ポート側のリンク障害を検出した場合や、対向機の100BASE-TXボートまたは1000BASE-Tボート側でリンク障害が発生した場合は、1000BASE-Tボートまたは100BASE-TXボートはスタンバイ状態となり、DUP/COL LED が遅く点滅します。

1000BASE-Tポート (DMC1000 シリーズ)100BASE-TXポート (DMC100 シリーズ)

1000BASE-T (DMC1000 シリーズ)、または、100BASE-TX (DMC100 シリーズ)のUTPケーブルを接続するコネクター (RJ-45)です。このポートはオートネゴシエーションでリンクを確立します。通信速度は1000Mbps (DMC1000 シリーズ)または100Mbps (DMC100 シリーズ)、通信モードはFull Duplex、MDI/MDI-X 自動認識機能をサポートます。

底面

⑦ SML 切替スイッチ

スマートミッシングリンク(SML)機能の有効/無効を設定するためのDIPスイッチです。出荷時設定は「ON(スマートミッシングリンク機能有効)」です。

5 設置

製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

○ 平らなところへの水平方向の設置

オプション (別売) を利用することにより、次の方法による 設置ができます。

- ラックマウントキットによる 19 インチラックへの設置
- 壁設置ブラケットによる壁面への設置
- 壁設置用磁石、マグネットシートによる設置



 弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わない でください。また、本書に記載されていない方法による 設置を行わないでください。不適切な方法による設置 は、火災、故障の原因となります。

水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。



製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

設置準備

● 設置するときの注意

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお 読みください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 底部を上にして設置しないでください。
- 充分な換気ができるように、本製品の通気口をふさが ないように設置してください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクターの端子にはさわらないでください。(静電気を帯びた手(体)でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。)

SML 切替スイッチの設定

設置の前に、本製品の底面のSML 切替スイッチで、スマートミッシングリンク機能の有効、無効を設定します。

スマートミッシングリンク機能を有効にすると、リンク障害が発生した場合、正常なポートでは、LINK/ACT LED が点滅します。



スマートミッシングリンクを正しく動作させるため、 RJ-45ポート(DMC100シリーズの100BASE-TX ポート、DMC1000シリーズの1000BASE-Tポート) は下記いずれかとの接続を推奨します。

・コンポポートではないRJ-45ポートと接続
・コンポポートを利用する場合は、RJ-45ポートのみ使用できるように設定したコンポポートと接続(設定可能な製品の場合)

リンク障害の検出にかかる時間はハードウェアリビ ジョンによって異なります。

· AT-DMC1000/SC Rev.J以前: 5秒程度 Rev.K以降: 1 秒程度 AT-DMC1000/ST Rev.I 以前: 5秒程度 Rev.M以降: 1秒程度 · AT-DMC1000/LC Rev.E以前: 5秒程度 Rev.F以降: 1秒程度 · AT-DMC100/SC Rev.K以前: 5秒程度

・AT-DMC100/SC Rev.NJ前、5秒程度 Rev.L以降: 1秒程度 Rev.N以前: 5秒程度 Rev.N以降: 1秒程度

· AT-DMC100/LC Rev.F以前: 5秒程度 Rev.G以降: 1秒程度

● ローカルポート側リンクダウン時

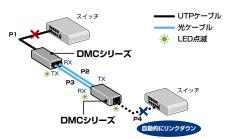


図2 ローカルポート側リンクダウン時

ローカルポート側リンク P1 がリンクダウンした場合、対向機のローカルボート側リンクである P4 が自動的にリンクダウンします。P4 の 1000B ASE-T ポート LED または 100B ASE-TX ポート LED と、P2、P3 の光ポート LED が遅く点滅します。

同様に、P4 がリンクダウンした場合は、P1 が自動的 にリンクダウンし、P1 の 1000BASE-T ポート LED または 100BASE-TX ポート LED と、P2、P3 の光ポート LED が遅く点滅します。

いずれの場合も、光ポート LED の点滅と同時に P2、P3 のリンクダウン / リンクアップを繰り返すことで、ローカルポート側リンクの障害を光ポートの対向のネットワークに通知します。

● リモートポート側リンクダウン時

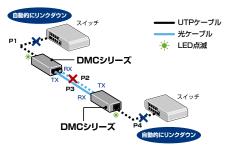


図3 リモートポート側リンクダウン時

リモートポート側受信リンク P2 がリンクダウンした場合、自機と対向機のローカルポート側リンクである P1、P4 が自動的にリンクダウンし、1000BASE-Tポート LED が遅く点滅します。

同様に、P3 がリンクダウンした場合は、P1、P4 が自動的にリンクダウンし、1000BASE-Tポート LED または 100BASE-TX ポート LED が遅く点滅します。

設置

● 平らなところへの水平方向の設置

本製品はデスクの上などに設置して使用できます。

オプション(別売)を利用した設置

● 19 インチラックへの設置

本製品の 19 インチラックへの設置は、別売の 19 インチラックマウントキット「AT-RKMT-J06」を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- ・AT-RKMT-J06の使用方法は、AT-RKMT-J06の取扱 説明書をご参照ください。
- AT-RKMT-J06 1 個で本製品を 12 台まで取り付けできます。
- ・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。



図 4 19 インチラックを使用する場合の設置方向

本製品を AT-RKMT-J06 に取り付ける際は、ラックマウントに対して左側に本製品の製品名記載面(上図のグレーの面)を向けて取り付けます。

19 インチラックの手前側に本製品の 1000BASE-T ポート /100BASE-TX ポート側を向けることも、光ポート側を向けることも可能です。

本製品の1000BASE-Tポート/100BASE-TXポート側を ラック 手前に向ける場合は1000BASE-Tポート/100BASE-Tポート寄りのネジ穴を、本製品の光ポート側をラック手前に向ける場合は光ポート寄りのネジ穴を、本体シャーシを固定していたネジで固定してください。

◀ 1000BASE-T ポート/ 100BASE-TX ポート側 **製品名記載面** 光ポート側



ート側 製品名記載面 1000BASE-T ボート/ 100BASE-T ボート かわのネジ穴 寄りのネジ穴

**本体シャーシを固定していたネジをはずして使用します 図 5 19 インチラックへの固定に使用できるネジ穴



・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・本製品を19インチラックへ取り付ける際は適切なネジで確実に固定してください。固定が不充分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

● 壁設置ブラケットによる設置

本製品の壁面への設置は、別売の壁設置ブラケット「AT-DMCWLMT」を使用し、以下の点に注意して行ってください。

・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

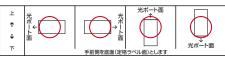


図 6 壁設置ブラケットを使用する場合の設置方向



必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

壁設置ブラケットを使用して壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不充分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。



本製品に壁面への取り付け用ネジは同梱されていません。壁面の強度などをご確認のうえ、適切な長さと太さのネジを別途ご用意ください。

壁面への取り付けには2個のネジが必要です。 なお、ネジ頭がブラケット面から飛び出すと、ブラケットに本製品が入りませんので、次のネジ穴の仕様をご確認のうえ、適切な形状のネジをお使いください。

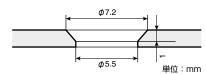


図 7 ブラケットのネジ穴

1. 設置場所を決めます。

ブラケットに本製品を差し込んだ状態で設置面にあてがい、ケーブル類の引き回しや LED の監視を考慮し、設置する場所を決めます。

また、この時点で、ブラケットに本製品を固定する際に使用できるネジ穴を、図 10、図 11 とあわせてよくご確認ください。

2. 設置面に穴位置をマークします。

ブラケットを設置面に当て、設置面に穴位置をマーク します。

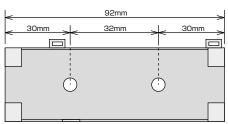


図8 ブラケットのネジ穴位置

3. ブラケットを設置面に固定します。

設置面のマークに従って下穴を開け、設置面に適した ネジを用いて、ブラケットを設置面に固定します。

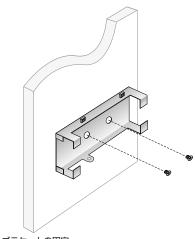


図9 ブラケットの固定

4. 本製品をブラケットに取り付けます。

本製品の SML 切替スイッチを手前側に向け、光ポート側からプラケットに差し込みます。そして、プラケットに付属の製品固定用ネジ(M3 × 4mm 皿ネジ)を使用して、本製品をプラケットに固定します。

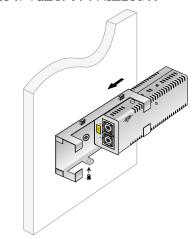


図 10 本製品のブラケットへの取り付け

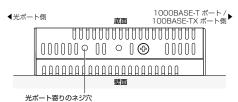


図 11 壁設置ブラケットへの固定に使用できるネジ穴

● マグネットによる設置

本製品のスチール製壁面への設置は、本製品のスチール製壁面への設置は、別売の壁設置用磁石「AT-BRKT-J20」、または、「マグネットシート S」を使用できます。

AT-BRKT-J20 を使用する場合

「AT-BRKT-J20」を使用する場合は、以下の点に注意して 行ってください。

- ・AT-BRKT-J20 の使用方法は、AT-BRKT-J20 の取扱説 明書をご参照ください。
- 本製品のブラケットへの固定には、本製品の側面の3か所のうち、1000BASE-Tポート寄り、中央の2か所のネジ穴のいずれかを使用できます。

100BASE-TX ポー

側面中央のネジ穴 寄りのネジ穴 ※本体シャーシを固定していたネジをはずして使用します

図 12 AT-BRKT-J20 への固定に使用できるネジ穴

・本製品は必ず下図の〇の方向に設置してください。

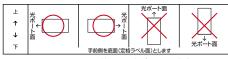


図 13 AT-BRKT-J20 を使用する場合の設置方向

マグネットシート S を使用する場合

「マグネットシート S」を使用する場合は、以下の点に注意 して行ってください。

- ・マグネットシート Sの使用方法は、マグネットシート S の取扱説明書をご参照ください。
- マグネットシート S 1 枚で本製品を2台まで取り付けで きます。
- ・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

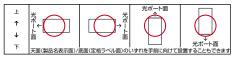


図 14 マグネットシート S を使用する場合の設置方向



設置面の状態によっては、マグネットシートの充分な強 度を得られない場合があります。



- 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設 置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原 因となります。
- ・マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルな どの重みにより機器が落下しないように確実に行って ください。ケガや機器破損の原因となるおそれがありま す。
- マグネットの取り付けは、各オプションの取扱説明書に 従って正しく行ってください。指定以外のネジなどを使 用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあり ます。

6 接続

ネットワーク機器の接続

● 1000BASE-T ポート / 100BASE-TX ポート

100BASE-TX の場合はカテゴリー5以上、1000BASE-T の場合は、エンハンスド・カテゴリー5以上の UTP ケー ルを使用して、本製品の 1000BASE-T ポート /100BASE-TX ポートとネットワーク機器を接続します。

接続先のポートの種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、スト ート / クロスのどちらのケーブルタイプでも使用すること

本製品の 1000BASE-T ポート /100BASE-TX ポートは、 異なる通信速度および Half Duplex での接続はサポートし ていません。

2 心のマルチモード光ファイバーケーブルを使用して、本製 品の光ポートと対向機器を接続します。

光ファイバーケーブルは2本で1対になっています。接続 先機器のRX から延びているケーブルを本製品のTX に、 続先機器の TX から延びているケーブルを本製品の RX に接 続してください。



図 15 光ファイバーケーブルの接続



目に傷害を被る場合がありますので、光ポートおよび光 ファイバーケーブルはのぞきこまないでください。 (CLASS1 LASER PRODUCT)



光ポート側の対向機器には、必ず本製品の同一シリーズ 同士を接続してください。他機種のイーサネットメディ アコンバーターを使用できません。



光ファイバーケーブルは折れやすいので取り扱いにご 注意ください。

電源の接続(本製品の起動)

1. AC アダプターを本製品に接続する

付属の AC アダプターの USB マイクロBオス側コネ クターを本製品の DC ジャックに差し込みます。



図 16 USB ケーブルの本体への接続

2. AC アダプターをコンセントに接続する

AC アダプターの AC プラグを電源コンセントに差し込 みます。



- ・本製品を使用する場合には、必ず製品に同梱されている ACアダプターをご使用ください。不適切なACアダブ ターや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や 感電のおそれがあります。
 - · 本製品の電源ジャックへの電源供給には、付属のACア ダプターのみをサポートしています。 付属のACアダプター以外のUSBポート(USBアダプ ター、コンピューター、バスパワー駆動USBハブなど) からの電源供給はサポート対象外となります。



本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電 源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご

3. LED を確認する

1000BASE-T ポート側、または 100BASE-TX ポート 側の SYS LED が点灯したことを確認します。

接続先機器の電源が入っており、各メディアのケーブ ルが正しく接続されていれば、接続されたポート LED (LINK/ACT、DUP/COL) が点灯します。

電源ケーブルの固定

製品に付属の電源ケーブル抜け防止キットを使用し、電源 ケーブルを本製品に固定することができます。

本製品側面のネジ穴(2 つあるうちのどちらでも取り付け可) にケーブル固定用部品をワッシャー付きなベネジ(M3× 6mm) で取り付けます。

ケーブルタイをケーブル固定用部品に通し、電源ケーブルを 固定します。



図 17 電源ケーブルの固定

ケーブルの固定

AT-DMCWLMT での固定

壁設置ブラケット「AT-DMCWLMT」をお使いの場合は、 プラケットに電源ケーブル、光ファイバーケーブルを固定す ることができます。

ブラケットに付属のケー -ブルタイを、ブラケットの2か所 のケーブルタイ固定穴に通し、電源ケーブル、光ファイバ-ケーブルをそれぞれ個別に固定します。

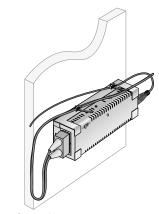


図 18 ケーブルの固定

本製品の停止

本製品を停止するには、電源コンセント側の AC プラグを抜



本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間 をあけてください。

7 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下 のことを確認してください。

● SYS LED は点灯していますか?

本製品の AC アダプターの USB コネクターや AC プラグが 正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使 用しているかなどを確認してください。

● 機器を停止後、すぐに起動していませんか?

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあ けてください。

● LINK/ACT LED は点灯していますか?

LINK/ACT LED は接続先機器と正しく接続されている場合 に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してくだ

- UTP ケーブル、および光ファイバーケーブルが正しく 接続されているか、正しいケーブルを使用しているか、 断線していないかなどを確認してください。
 - また、ケーブルの長さが制限を超えていないか確認し てください。
- 接続先の機器に電源が入っているか、接続先機器のオ トネゴシエーションが有効になっているかを確認して ください。
- SML 切替スイッチの設定を変更しても設定通りの動作 をしない場合は、AC プラグをコンセントから抜き、し ばらくしてから電源を投入し直してください。

8 製品仕様

光ポート使用ケーブル

シリーズ名	使用ケーブル	最大 伝送距離
	GI 50/125	550m (伝送帯域500MHz·km時)
DMC1000	マルチモードファイバー	500m (伝送帯域400MHz·km時)
	GI 62.5/125	275m (伝送帯域200MHz·km時)
	マルチモードファイバー	220m (伝送帯域160MHz·km時)
DMC100	GI 50/125 マルチモードファイバー	2km
	GI 62.5/125 マルチモードファイバー	2km



光ポートインターフェース

● DMC1000 シリーズ

		AT-DMC1000/			
		SC	ST	LC	
光ポート		2連SC コネクター	2連ST コネクター	2連LC コネクター	
中心波長		850nm			
送信光レベル	最大	-4dBm	-4dBm	-4dBm	
	最小	-9.5dBm*1 -9dBm*2	-9.5dBm	-9.5dBm	
受信光レベル	最大	-3dBm	-3dBm	OdBm	
	最小	-17dBm	-17dBm	-17dBm	
許容損失		7.5dB*1 8dB*2	7.5dB	7.5dB	

- ※ 1 50/125 マルチモードファイバー使用時
- ※ 2 62.5/125 マルチモードファイバー使用時

■ DMC100 シリーズ

		AT-DMC100/		
		SC	ST	LC
光ポート		2連SC コネクター	2連ST コネクター	2連LC コネクター
中心波長		1310nm		
送信光レベル	最大	-14dBm		
	最小	-20dBm		
파트까나 하비	最大	-3dBm		
受信光レベル	最小	-32dBm		
許容損失		12dB		

● 本製品の仕様

準拠規格				
DMC1000 シリーズ	IEEE 802.3z 1000BASE-SX (PMD 部を除く) IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3az Energy Efficient Ethernet*1			
DMC100 シリーズ	IEEE 802.3u 100BASE-FX (PMD 部を除く) 100BASE-TX IEEE 802.3az Energy Efficient Ethernet*1			
適合規格*2				
CE				
EMI 規格	VCCI クラス A			
安全規格	UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1			
EU RoHS 指令	÷			
電源部				
定格入力電圧	AC100-240V			
入力電圧範囲	AC90-264V			
定格周波数	50/60Hz			
定格入力電流	0.2A			
最大入力電流 (実測値)	0.05A			
平均消費電力	AT-DMC1000/SC: 1.8W (最大2.3W) AT-DMC1000/ST: 1.8W (最大2.3W) AT-DMC1000/LC: 1.6W (最大2.0W) AT-DMC100/SC: 1.6W (最大2.0W) AT-DMC100/ST: 1.6W (最大1.9W) AT-DMC100/LC: 1.6W (最大2.0W)			
平均発熱量	AT-DMC1000/SC: 6.8kJ/h (最大8.1kJ/h) AT-DMC1000/ST: 6.8kJ/h (最大8.1kJ/h) AT-DMC1000/LC: 5.9kJ/h (最大7.2kJ/h) AT-DMC100/SC: 6.0kJ/h (最大7.2kJ/h) AT-DMC100/ST: 5.9kJ/h (最大7.0kJ/h) AT-DMC100/LC: 5.9kJ/h (最大7.0kJ/h)			
環境条件				
動作時温度	0 ~ 40℃			
動作時湿度	5~90%(ただし、結露なきこと)			
保管時温度	-30 ~ 70℃			
保管時湿度	5 ~ 95%(ただし、結露なきこと)			
外形寸法(突起部含まず)				
	35 (W) × 91 (D) × 25 (H) mm			
質量				
製品本体	120g			

** 1 1000BASE-T ポート、100BASE-TX ポートのみ

ACアダプター 70g

※2 当該製品においては「中国版 RoHS 指令 (China RoHS)」で求められる Environment Friendly Use Period (EFUP) ラベル等を記載している場合がありますが、日本国内での使用および日本から中国を含む海外へ輸出した場合も含め、弊社では未サポートとさせていただきます。証明書等の発行も原則として行いません。

9 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口

http://www.allied-telesis.co.jp/support/repair/

0120-860332

携帯電話/ PHS からは: 045-476-6218 月〜金(祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害 (事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその 他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない) につき ましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

10 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/

0120-860772

携帯電話/PHS からは: 045-476-6203 月〜金(祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

11 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかしめご了承ください。

● 一般事項

すでに「サポート ID 番号」を取得している場合、サポート ID 番号をお知らせください。サポート ID 番号をご記入いただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただいてかまいません。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

● 製品について

シリアル番号とリビジョンをお知らせください。

シリアル番号とリビジョンは、本体に貼付されている(製品に同梱されている)シリアル番号シールに記載されています。

S/N 007807G104000001 A1

図 19 シリアル番号シール (例)

S/N 以降のひと続きの文字列がシリアル番号、スペース以降のアルファベットで始まる文字列(上記例の「A1」部分)がリビジョンです。

● 設定や LED の点灯状態について

- スイッチ類の設定状態をお知らせください。
- LED の点灯状態をお知らせください。

● お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)が知らせください。

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をあわせてお送りください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

12 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社(弊社)の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。 弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。ります。

© 2016-2020 アライドテレシスホールディングス株式会社

13 商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

14 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

15 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

16 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の制出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび 修理など一切のサービスが受けられません。

17 マニュアルバージョン

2016年10月Rev.A 初版 2017年10月Rev.B 改版 2019年3月 Rev.C 改版 2020年8月 Rev.D 改版